



SAIDAIJI JC REPORT

2002年スローガン

ベースボール

～白球を追いかける少年のように～



第31回 少年はだか祭り



地球ふるさと委員会

委員長

山根 祐一

2月16日(土)の西大寺会陽当日に西大寺観音院にて「第31回少年はだか祭り」が1、2年生の宝もち参加隊、3、4年生の五福筒争奪戦、5、6年生の宝筒争奪戦の3部構成で大きなけが人もなく無事、盛大に開催されました。

少年はだか祭りの担当委員会は、6年前に続き2度目ではありましたが、毎年参加してきたので少しは解っているつもりでしたが、いざ準備を始めると解らないことばかりで理事長、歴代委員長の方々、委員会メンバーに助けて頂き何とか開催できたと思います。31回目の少年はだか祭り伝統を感じますのも、私は、25年前の6年生の時に少年はだか祭りに参加した1人です。25年後担当委員長として設営させて頂くことに歴史を感じると共にこれからも続くであろう少年はだか祭りを担当できたことを誇りに思います。

当日は、天候に恵まれ東は東京から西は広島から、



そして岡山県内各地より39名と過去最高の参加を頂き、まわし締め込み室に入りきれないほどの子供たちの参加者の多さに準備をしてきた四月の苦労が喜びに変わる瞬間でした。出陣式では、市民会館のロビーが子供たちで埋め尽くされている様子を見て緊張した訳ではないですが、祝電を読み間違え、ハンドマイクのサイレンを鳴らすのは理事長を慌てさす始末でしたが、子供たちの「エイ、エイ、オー」の迫力に身震いする感じでした。今年は各隊とも120名を越す参加者で、5、6年生の宝筒争奪戦では、毎年大人顔負けの迫力ですが、まだ身体の小さい1、2年生でも120名超の参加で迫力ある争奪を行っていました。

今年も、5名が宝筒獲得(宝筒争奪戦)で福男児となり、1本は1人で、もう1本は4人での獲得で過去にないこと(多分)でした。何はともあれ、無事終了しほっとひと安心といったところですが、運営上のミスが非常に多く皆様方に迷惑をお掛けしました。皆様が、各担当で適切な対応をして頂いたお陰で開催できたと思っています。最後になりましたが、西

大寺観音院、会陽奉賛会、少年はだか祭り実行委員会の西大寺観音院世話人会、国際ソロプチミスト西大寺、西大寺剣道スポーツ少年団、岡山市消防団西大寺分団、西大寺商工会議所青年部、ボーイスカウト西大寺第4団、西大寺JC特別会員の皆様、各協力団体の皆様、そして担当委員会の皆様、そして全メンバーの皆様方には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。また、保護者の方々、協賛団体、企業の皆様のご理解、ご支援があったからこそ第31回少年はだか祭りが開催でき、何とか成功することができました。ありがとうございます。



こり取り堤に入る少年達



宝筒をにぎってにっこり



- 右から
- 西大寺小学校 6年 尾森 字匡太君
- 玉原小学校 6年 田中 仁君
- 西大寺小学校 6年 小林 亮君
- 豊小学校 6年 万代 祐士君
- 西大寺小学校 6年 松本 昌樹君

先般1月26日、27日、京都の地で開催された、京都会議に参加して参りました。当日京都には雪こそふらぬものかなりの寒さの中、山名理事長を始め西大寺JC参加者総勢9名にて元氣よく京都の地に足跡を残して参りました。実際に京都会議の会場である京都国際会議場に入ってみた所、遠方より京都の地に集まられた方々で大変な混雑で、不況の世の中でもJCの灯はまだまだ消えてはいないと幾分安心致しました。ただ、毎年京都で行われる今会議に幾度か参加してみても、その度ごとに感じるものが、京都会議はなぜ京都でしか開催されないのか?ということですが、JCの全国的規模の集会は、開催地に多大なる経済効果を及ぼすことは周知の事実であり、その恩恵が何故京都府にのみもたらされるのでしょうか。もちろん京都会議の存在意義は全国大会とは違うとは思いますが、毎年必ず開催される事業であるが故に、遠方の例えば北海道のJCの方々や沖縄

のJCの方々や交通手段に、毎年多額の出費を強いられるのには比へ京都近隣のJC会員の方には負担がほとんど発生しないというのは、問題があるのではないのでしょうか。全国的な組織であるJCにとって、各地方へのJCの配慮というのには、絶対に必要なものだと考えます。又それが現在低迷している日本経済再生に對する、良いカンフル剤のひとつとなるのではないのでしょうか。また今年度、私たち西大寺JCからは岡山ブロック協議会に、小山光介君が、広域まちづくり推進委員会委員長として、出向されています。広域なまちづくりを推進する上からも、JCとして地方分権の後押しをできる全国的規模の大会の地方への移動を考えてみるべきなのではないのでしょうか。今までの常識的な改革では、恐らくここまで落ちこんだ経済状況を立て直すのは不可能なのだと思います。今こそJCにできることから確実に変えてゆく事が大切なのではないのでしょうか。

京都会議に参加して

総務広報委員会副委員長 井上裕嗣

会陽懇親会

親睦研修委員会 委員長 水野隆一郎

去る2月16日(土)に備前西大寺五福座にて会陽懇親会が盛大に開催されました。今年度は笠岡青年会議所のメンバー151名が全員参加されたのははじめ、さぬき青年会議所、下関青年会議所、岡山ブロック研修委員会などの方々に御参加いただき総勢91名という大人数となりました。お祝いも多数いただきましたことを取り急ぎ失礼とは存じますが御礼申し上げます。また岡山ブロックの高木 豊会長も激励にかけてくださり春を呼ぶ西大寺会陽にふさわしい大変な盛り上がりがあったと思います。

大寺のメンバーも十一時半ごろ威勢よく本堂へ向けて出発し、零時に投下される宝木の争奪の裸群のなかへと入っていきましました。残念ながら宝木を取った人はいませんでした。西大寺の伝統行事に参加することでメンバーのさらなる結束を深めることができたと思います。

来年もまた盛大な開催を予定しておりますので何卒、御参加いただけますよう宜しくお願いいたします。

途中、笠岡JC、下関JCの方々が地押しに参加され今年の祝い主である両備グループやセイレイ工業の団体にまじって威勢よく観音院を周回しました。特に笠岡JCの方は本年ブロック会員大会を開催されるということのでよい景気づけとなったことと思います。西



吉井川流域交流会に参加して

地球市民委員会 委員長 安藤 修

1月26日、和気の大田原コミュニティハウスで吉井川の各流域で様々な活動をしている団体が集り、新年会を兼ねた流域交流会が開かれました。我々「吉井川フェスタ実行委員会」からも、JCメンバー、国際ソロプチミスト西大寺、商工会議所女性会、地域づくり交流会、西大寺商工会連合会、ボーイスカウト西大寺第4団など、これまでで最多の参加人数となりました。

吉井川流域で行われる交流会は先ず、恒例の参加者一人一人の自己紹介から始まります。各団体のPRあり、自分達の地元を流れ吉井川へそそぐ源流への熱い思いあり、私的な頼み事あり様々ですが、全員が一言づつ話終える頃には酒も進み、初めて会う人達も和やかに自分達の活動や、今後の予定、協力依頼などあちらこちらで話が

盛り上がりて行きます。今回の話題の一つに、今年、大原町の「黒谷川を守る会」の皆さんが、昨年の西栗倉、一昨年の東栗倉に続き、「源流の碑」を建てる計画があります。前回同様最下流の街、西大寺から流域の人々の手によって少しずつ上流の町や村に手渡されて行きます。この「源流の碑」に使われる原木は、昨年、上流の皆さんの手により12メートルもの檜の原木が山中より切り倒され、引き出されました。私自身、この切り出しに参加して来て、吉井川に関する活動とは別に、なかなか出来ない貴重な体験をして来ました。一つの流域の活動に可能な限り他の流域も協力しているのが現在の吉井川流域の形と成りつつありますが、決して強制されるものではなく、出来る事を出来る部分で協力して行けたらと思います。

明るいはだか祭りを
守る会より
感謝状を頂きました。

第42代理事長

山名 宏典

去る2月9日(土)、西大寺ふれあいセンターにて、明るいはだか祭りを守る会の第20回住民大会が開催されました。会場には関係団体他、一般の方約300人が詰掛け盛大に開催されました。この明るいはだか祭りを守る会は、伝統ある西大寺会陽から「入れ墨、暴力を締め出そう」と昭和47年に保都先輩を中心に発足され、約9万2千人の署名を集め、そして翌年の会陽では、みごと入れ墨ゼロの西大寺会陽が行われました。

西大寺青年会議所も看板設置等の協力を毎年させていただいておりますが、本年度は第20回の記念大会ということ、西大寺警察署長より感謝状を頂きました。我々西大寺青年会議所は、青少年の健全育成と郷土愛を育む心を養う

為に少年はだか祭りを開催しています。この子供たちがやがて大きくなり、郷土の誇りである西大寺会陽に参加してくれる事を願います。最後に、来年度は歳森監事が明るいはだか祭りを守る会の会長になられる予定です。50回記念をめざして頑張ってくださいと思います。



西大寺警察署長より感謝状授与

新年祝賀会を開催して

親睦研修委員会 松本和生

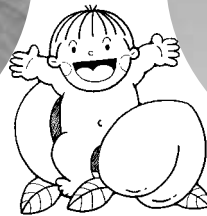
去る1月11日(金)、二〇二〇年度(社)西大寺青年会議所「新年祝賀会」が、岡山プラザホテルにおいて多くのご来賓の方々や特別会員、現役会員の皆様に御出席いただき盛大に開催されました。そして、山名理事の基本方針とスローガンに関する、今年の西大寺青年会議所の活動についての熱い想いのこもった挨拶にはじまり、来賓の方々の挨拶、山本先輩の乾杯と厳格な中にも和やかな雰囲気では進んでいきました。そのあと、歳森監事率いる「西大寺吹奏楽団」によるオーケストラをアトラクションとして昨年に引き続きお願いたしました。演奏された曲目の中には、山名理事長がリクエストされた曲もあり、大変に好評を頂きました。

最後になりましたが、当日は、お忙しいにもかかわらず、多くのかたがたに御出席いただきまして、心より御礼申し上げます。



優 友 野 播
 誕生 平成13年12月20日
 三女 播野 信道

修 野 水
 誕生 平成14年1月25日
 長男 水野 隆一郎



定 事 行

- 4月5日(金) 第69回グロックじゃがいも大会 (真庭カントリークラブ)
- 4月7日(日) 3JC野球大会 (日生総合運動公園)
- 4月10日(水) 4月例会 (西大寺商工会議所)
- 4月21日(日) ブロック野球大会 (津山スポーツセンター)

社西大寺青年会議所は会員を大募集しております。

男女問いません。

私達と一緒に地域創りしませんか。

問い合わせ先

西大寺商工会議所内
 社西大寺青年会議所事務局
 TEL086-942-0101

発行日 平成14年3月30日
 発行責任者 山名宏典
 編集責任者 岡田康志
 発行所 (社)西大寺青年会議所
 印刷所 フジイ印刷株式会社